

2022年11月4日

報道各社 御中

全国農業協同組合連合会三重県本部（JA全農みえ）

今年度のチャンピオン牛は？「伊賀牛共進会」を開催

「三重ブランド」に認定され、輸出も行っている「伊賀牛」。その2022年度チャンピオン牛を決める「伊賀産肉牛共進会」を開催します。

共進会は伊賀牛の肥育技術の向上と生産振興をはかることを目的に毎年開かれています。

伊賀市、名張市から18頭が出品予定で、県畜産研究所、JA全農みえ関係者らが審査にあたり、最高位の「名誉賞」をはじめとする各賞を決定します。

さらに今年度は、伊賀産肉牛生産振興協議会設立60周年の節目の年でもあり、いずれの生産者の牛が「名誉賞」の栄誉に輝くか、注目が高まっています。

この様子をぜひご取材いただきたく、下記のとおりご案内申し上げます。

記

◆と き:2022年11月11日(金) 9:15～13:30ごろ

◆ところ:JA全農みえ 伊賀家畜市場
伊賀市千歳72-1

◆主 催:伊賀産肉牛生産振興協議会

◆事務局:JA全農みえ 畜産課



タイムスケジュール (進行状況により時間帯は若干前後にずれる場合があります)

時刻	項目	内容
9:15	審査	県畜産研究所、JA全農みえ関係者らが審査
11:30	表彰式	主催者あいさつ、審査講評、入賞者表彰
12:30	せり販売	終了予定13:30ごろ



審査のようす



せり販売のようす

<参考>

伊賀牛の概要



定義	伊賀産肉牛生産振興協議会会員が飼養管理する黒毛和種の雌の未經産牛。最終かつ最長飼養地が伊賀地域（伊賀市、名張市）で、当地域で1年以上飼養された牛
会員農家数	23戸
飼養頭数	約2400頭
年間出荷頭数	約1200頭
販売形態	生体相対（農家庭先）約7割、生体せり（年3回）約1割、枝肉販売約2割。生体販売のほとんどが地元、伊賀地域内での販売です。2014年から輸出も行っています。

伊賀産肉牛生産振興協議会

目的・事業活動	伊賀産肉牛の生産を振興し、名産「伊賀牛」産地の造成をはかるため、飼養管理技術の向上や経営の合理化に向けた研修会、共進会の開催、販売促進活動などに取り組んでいます。
設立年	1962年
構成員	JAいがふるさと、伊賀市、名張市、県関係機関、生産者、JA全農みえ
事務局	JA全農みえ 畜産課